

市立図書館の駅前移転

所管である教育委員会の決定を経ずに市長部局で決定



市立図書館のツタヤ委託報道(抜粋資料)

◆『朝日新聞』5月25日付

多賀城市が「ツタヤ図書館」を計画していることが分かった。JR仙石線の多賀城駅前に新しい図書館を設け、その運営をレンタル大手で、TSUTAYA(ツタヤ)を展開するカルチュア・コンビニエンス・クラブ(CCC)に委託する方針だ。…多賀城市の菊地市長は「情報管理には万全を期したい」と話しており、具体策を詰めていく。

◆『河北新報』5月26日付

多賀城市が、市立図書館をJR仙石線多賀城駅前に計画する再開発ビルに移転し、TSUTAYA(ツタヤ)を展開するカルチュア・コンビニエンス・クラブ(CCC)への業務委託を検討していることが25日、分かった。実現すれば2、3年後に開館する。…CCCは4月、佐賀県武雄市の委託を受け、同市図書館(蔵書20万冊)の運営を初めている。菊地健次郎多賀城市長や市幹部らは3月下旬、武雄市を訪れて市図書館を視察した。菊地市長は「市民アンケートでは、利便性の高い駅周辺に図書館を希望する声が多い。人の集まる施設にするために、どういった方法がふさわしいか、さまざまな選択肢を検討して慎重に進めている。1カ月くらいで結論を出したい」と話している。

◆『朝日新聞』5月30日付

多賀城市は29日、JR多賀城駅北地区に図書館と子育て支援施設が入る複合ビル2棟を建設する計画を、市議会の全員協議会で明らかにした。新しい図書館は2015年夏に開館する見通し。市が図書館運営の委託先として検討しているレンタル大手TSUTAYA(ツタヤ)の運営会社カルチュア・コンビニエンス・クラブ(CCC)との交渉について、菊地健次郎市長は議会後の取材に「おそらく担当者同士は会っているのかなと思う」と述べた。

普通、役所が重要問題を決定する時は住民の声や議会の意見を大事にする。それは、市長のポケットマネーで事業をするならともかく、税金で仕事をするのだから当然である▼だが耳を疑うようなことが多賀城で起きている。35年間の図書館の事業を総括してもいないのに、次期の「図書館基本計画」策定も今からなのに、なぜか市立図書館を大手レンタルショップのツタヤに運営を委ねることが決まっているらしい▼もつともこれはマスコミの報道で、市は「決定したのは駅前への移転だけ」としている。これはこれで全く所管の教育委員会を無視した決定である。市教委は市長の追認機関だとも思っていたのだろうか▼なぜこういうことになったのか?手法まで佐賀県武雄市を真似たのでは?とにかく武雄市長はすごいのだ。突然図書館をツタヤに委ねる「基本合意」を発表する。「合意」は議会に出さない。気にいらぬ議員は名指しでブログで攻撃する:▼図書館に併設していた歴史資料館「蘭学館」は閉鎖しCDやDVDのレンタルショップとして有償で貸し出すことにした。言動、手法、内容ともに、歴史文化都市の品位ある市長が真似をするのではないと思うのだが…。

藤原市議が批判「教育委員会は市長の追認機関か」

6月4日午後、多賀城市議会全員協議会が開催され「子ども・子育て支援新制度」等の概要説明とともに、図書館移転問題について市教育委員会から改めて「5月22日の定例教育委員会に報告し、概ね了解を得ている」との追加説明がありました。

この問題について、竹谷と答えました。竹谷市議が英昭議員から「定例の教育委員会が図書館の移転問題が議題となり確認されたということか」と問われ、市教委は「議題としてではなく、会議終了後に情報提供ということで説明をした」ということと説明をした。と答えた。竹谷市議が「それはおかしい」と述べたことに對し、教育長もそのおかしさを認めました。また藤原市議が「その際に説明に使った資料を出していただき」と求めたところ、市教委は「資料は出していない」と批判しました。

説明した」と回答。藤原市議は「図書館は…」

「図書館は…」と藤原市議は、菊地市長は教育委員会の権能を飛び越えてマスコミに情報を提供し世論誘導を図っているのではないか。『どいう図書館をめざすのか』という議論がなされてもよい。

長に對し「教育委員会がなぜ地方自治体に設置されているのか」「図書館の所管はどこと認識しているのか」と尋ねました。市長は「(29日の説明会で述べた)教育長と同様の認識だ」と述べた。藤原市議は「その認識は正しい。しかし実際には、市長は教育委員会の権能を飛び越えてマスコミに情報を提供し世論誘導を図っているのではないか。『どいう図書館をめざすのか』という議論がなされてもよい。」

普通、役所が重要問題を決定する時は住民の声や議会の意見を大事にする。それは、市長のポケットマネーで事業をするならともかく、税金で仕事をするのだから当然である▼だが耳を疑うようなことが多賀城で起きている。35年間の図書館の事業を総括してもいないのに、次期の「図書館基本計画」策定も今からなのに、なぜか市立図書館を大手レンタルショップのツタヤに運営を委ねることが決まっているらしい▼もつともこれはマスコミの報道で、市は「決定したのは駅前への移転だけ」としている。これはこれで全く所管の教育委員会を無視した決定である。市教委は市長の追認機関だとも思っていたのだろうか▼なぜこういうことになったのか?手法まで佐賀県武雄市を真似たのでは?とにかく武雄市長はすごいのだ。突然図書館をツタヤに委ねる「基本合意」を発表する。「合意」は議会に出さない。気にいらぬ議員は名指しでブログで攻撃する:▼図書館に併設していた歴史資料館「蘭学館」は閉鎖しCDやDVDのレンタルショップとして有償で貸し出すことにした。言動、手法、内容ともに、歴史文化都市の品位ある市長が真似をするのではないと思うのだが…。

題字は池田和京さんにご揮毫いただきました。

日本共産党 多賀城市議団
多賀城市留ヶ谷一丁目11番23号
代表(364)3222
FAX(309)3910

◇弁護士による法律相談

◇申込 電話で予約して下さい。
◇電話 364-3222
◇相談日 6月17日(月) 6月28日(金)
◇時間 午後1:30~
◇場所 旧阿部福商店となり塩釜県民の会事務所

◇議員による暮らしの相談

電話 藤原益栄議員 368-6623
070-6497-6623
佐藤恵子議員 367-0182
090-2027-9884
柳原きよ議員 368-1883
090-2605-4984
戸津川はるみ議員 090-7528-2075

東風城目

普通、役所が重要問題を決定する時は住民の声や議会の意見を大事にする。それは、市長のポケットマネーで事業をするならともかく、税金で仕事をするのだから当然である▼だが耳を疑うようなことが多賀城で起きている。35年間の図書館の事業を総括してもいないのに、次期の「図書館基本計画」策定も今からなのに、なぜか市立図書館を大手レンタルショップのツタヤに運営を委ねることが決まっているらしい▼もつともこれはマスコミの報道で、市は「決定したのは駅前への移転だけ」としている。これはこれで全く所管の教育委員会を無視した決定である。市教委は市長の追認機関だとも思っていたのだろうか▼なぜこういうことになったのか?手法まで佐賀県武雄市を真似たのでは?とにかく武雄市長はすごいのだ。突然図書館をツタヤに委ねる「基本合意」を発表する。「合意」は議会に出さない。気にいらぬ議員は名指しでブログで攻撃する:▼図書館に併設していた歴史資料館「蘭学館」は閉鎖しCDやDVDのレンタルショップとして有償で貸し出すことにした。言動、手法、内容ともに、歴史文化都市の品位ある市長が真似をするのではないと思うのだが…。